

2026（令和 8）年度

大学院入学者選抜試験要項

地域文化研究科（修士課程）

南島文化専攻

英米言語文化専攻

人間福祉専攻

地域産業研究科（修士課程）

地域産業専攻

法学研究科（修士課程）

法律学専攻



沖縄国際大学

Okinawa International University

〒901-2701

沖縄県宜野湾市宜野湾二丁目 6 番 1 号

TEL : 098-893-8945 FAX : 098-893-3271

URL : <https://www.okiu.ac.jp/graduate>

E-MAIL : entchr@okiu.ac.jp

目 次

人材養成に関する教育研究上の目的について	P. 1
アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	P. 2
I. 入学者選抜試験日程・募集人員	P. 4
II. 出願資格	P. 5
III. 出願手続	P. 8
IV. 選抜方法	P. 10
V. 出願資格審査・出願資格審査合格者選抜試験	P. 12
VI. 選抜試験・合格発表	P. 14
VII. 出願・受験上の注意	P. 15
VIII. 入学手続	P. 16
IX. 大学院入学者選抜 Q&A	P. 17

● 本学所定の出願書類

①志願票（研究科・専攻別）
②履歴書
③志望理由書
④研究計画書
⑤業績報告書
⑥出願資格審査願

人材養成に関する教育研究上の目的について

【地域文化研究科】

地域文化研究科では、幅広い視野に立ち、精深な学識を授けるとともに、各専門分野における研究能力を高めることによって、高度専門職業人としての資質を磨き、地域社会や国際社会に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

1. 南島文化専攻では、言語文化、民俗文化、先史・歴史文化、社会文化の4領域において高度な知識と専門性の高い人材を育成することを目的とし、地域社会や国際社会の諸問題の解決を適切に処理する能力を修得させる。
2. 英米言語文化専攻では、英米文学、英語教育学、日本語教育学において高度な知識と技術を持つ人材を育成することを目的とする。具体的には、英米の言語文化および外国語としての日本語の教育研究に留まらず、沖縄という地域の特性を常に考慮し、将来の沖縄を背負い国際的に通用する人材の育成を行う。
3. 人間福祉専攻・社会福祉学領域では、社会福祉学の理論及び実践に関する見識を深めるとともに、社会福祉現場や地域社会における福祉課題などへの取り組み、学際的かつ実践的教育研究活動を通して、将来、地域社会における諸問題に対して、専門的立場から適切な解決をはかり福祉社会の構築に資することのできる人材を養成することを目的とする。
4. 人間福祉専攻・臨床心理学領域では、複雑な社会に生きる人間の抱える問題に関して、地域に立脚しつつ、心理的な問題の解決に貢献できる高度の知識を備えた専門的職業人の養成を目的とする。

【地域産業研究科】

地域産業研究科では、精深かつ科学的、体系的な知識を授けることにより、地域産業振興の原動力となり得る高度の専門知識を有する人材を育成し、地域経済社会の発展に資することを目的とする。

【法学研究科】

法学研究科では、幅広い視野に立ち、法律学の各分野における研究能力を高めることによって、法律研究者を養成するとともに、高度専門職業人としての資質を磨き、地域社会や広く国際社会に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

＜沖縄国際大学 アドミッション・ポリシー＞

本学の建学の精神および理念に賛同し、本学の使命に記されている人間像をめざし、本学の教育目標に掲げた能力を伸ばすために必要な「意欲・関心」、「基礎的学力」、「コミュニケーション能力」を身につけた人物を求めます。

建学の精神：「真の自由と、自治の確立」

理 念：「沖縄国際大学は、沖縄の伝統文化と自然を大切にし、人類の平和と共生を支える学術文化を創造する。そして豊かな心で個性に富む人間を育み、地域の自立と国際社会の発展に寄与する。」

本学の使命：沖縄国際大学は沖縄の発展に貢献するために

- (1) アジアの十字路に位置する沖縄のポテンシャルを活かし、万国津梁（※）の魁（さきがけ）となる人材を育成します。（※「万国津梁」：「世界の架け橋」という意。1458年に尚泰久王が鑄造させ、首里城正殿に掲げていたという鐘に刻まれた銘文の一部。）
- (2) 沖縄の個性を発揮させる研究・地域連携を行います。

教育目標：(1) アジアを中心とする国際社会と対話し、理解し発信する能力を育成する教育をします。
(2) 「沖縄」を見つめ探求し、地域と協働する経験を蓄積させる教育をします。
(3) 夢を描き実現する力、環境変化に適應できる力、すなわち人間力を培う教育をします。

本学の目的：学問研究の基本理念に基づき、広く社会に教育の場を提供し、人間性の涵養と科学的知識の啓発につとめ、理性的教養と歴史の進展に深い洞察力を保持する人材を育成する。

【地域文化研究科】

南島文化専攻

本研究科本専攻が入学者として求めるのは、以下のような人物です。

1. 言語文化領域においては、南島地域の言語および文学に強い関心を有する人物。または、日本の古典文学や近現代文学、国語教育学に強い関心を有する人物。
2. 民俗文化領域においては、南島地域の民俗文化に強い関心を有する人物。または、南島地域の周辺地域である東アジア・東南アジア地域の民俗文化に強い関心を有する人物。
3. 先史・歴史文化領域においては、南島地域の先史文化あるいは歴史文化に強い関心を有する人物。または、南島地域の周辺地域である東アジア・東南アジアとの関係史に強い関心を有する人物。
4. 社会文化領域においては、南島地域の社会関係の特質、南島社会における文化問題に強い関心を有する人物。または、南島社会の抱える現代的な問題に強い関心を有する人物。

英米言語文化専攻

本専攻の教育目標を理解し、幅広い視野と柔軟な思考を備えた受験者を広く国内外から求めます。

1. 言語文化・言語教育に関して強い学習意欲を持つ人物。
2. グローバル社会に対応できる専門性の獲得を目指す人物。
3. 教育機関における実践的・学術的指導者を目指す人物。

人間福祉専攻・社会福祉学領域

人間福祉専攻社会福祉学領域においては、以下のいずれかの条件を満たす人物を本課程の学生として受け入れます。

1. 社会福祉学に関する一定以上の知識と語学力を有すると認められた人物。
2. 在職する行政機関、社会福祉施設、社会福祉協議会、医療機関等の長から推薦がある人物で、一定以上の社会福祉学に関する知識を有すると認められた人物。
3. 学校、教育委員会等の代表者の推薦がある人物で、一定以上の社会福祉学に関する知識を有すると認められた人物。

人間福祉専攻・臨床心理学領域

【本領域の教育目標】

1. 臨床心理学領域における専門知識と技能を兼ね備え、保健医療、福祉、教育その他の分野において活躍できる公認心理師・臨床心理士を養成します。
2. 時代や社会の要請に応え、現代社会における人の安寧につながる研究ができる人材を養成します。
3. 現代社会における諸問題について心理学的視座から、高度な専門的技能を用い、多職種と協働しながら、実践的な問題解決が図れる人材を養成します。

本領域の教育目標を理解し、人間のこころに関心を持ち、幅広い視野と柔軟な思考を備え、高度な専門職をめざす、以下のような人物をもとめます。

1. 公認心理師・臨床心理士をめざす人物。
2. 心理学の基礎的知識と対人関係能力を、一定以上身につけている人物。
3. 心理学の実証的研究手法を通して、心理学的現象を論理的に考え説明できる力が身につけている人物。
4. 心理学的視座から現代社会における諸問題について関心を持ち、人とのつながりの中で実践的に問題を解決していくことができる人物。

【地域産業研究科】

地域産業研究科は、経済、経営、マーケティング、会計、情報、環境などの学術分野の有機的な連携の下に、各領域の専門性の深化と併せて広い視野に立った思考能力を有する専門的職業人を養成することを目的としています。そのため、以下のような人物を受け入れます。

1. 各専攻領域に関する知識及び専門的な素養を有する人物。
2. 企業、行政および教育などの実務現場で将来、地域社会、国際社会の発展に寄与できる豊かな素養と能力・意欲を備えた人物。

【法学研究科】

法学研究科では、その教育目的を達成するために、入学者には、大学卒業程度の基礎的学力を持っていることを前提として、特に以下の点について十分な適性をもっていることを望みます。

1. 法学に関して深い関心を持ち、自ら学び研究する意欲を持っている人物
2. 法学の諸分野において、自らの問題意識から課題を設定して、修士論文を作成する強い意思を持っている人物
3. 法学に関する高度な専門的知識を持つ職業人として、地域社会および国際社会の一員として活動することを希望する人物

I 入学者選抜試験日程・募集人員

1. 入学者選抜試験日程

	前期日程	後期日程
選抜種別	●一般選抜試験 ●推薦選抜試験 ●社会人選抜試験 ●外国人特別選抜試験（地域産業研究科のみ）	●一般選抜試験 ●推薦選抜試験 ●社会人選抜試験 ●外国人特別選抜試験（地域産業研究科のみ）
試験日	2025 年 9 月 28 日（日）	2026 年 1 月 25 日（日）
受験料納入期間	2025 年 8 月 12 日（火）～ 8 月 19 日（火）	2025 年 12 月 5 日（金）～ 12 月 12 日（金）
出願期間	2025 年 8 月 12 日（火）～ 8 月 19 日（火） ＊郵送に限る（最終日消印有効）	2025 年 12 月 5 日（金）～ 12 月 12 日（金） ＊郵送に限る（最終日消印有効）
合格発表日	2025 年 10 月 23 日（木） 午前 11 時	2026 年 2 月 12 日（木） 午前 11 時
入学時納入金 納入期間	2025 年 10 月 24 日（金）～ 10 月 31 日（金）	2026 年 2 月 13 日（金）～ 2 月 27 日（金）
入学手続期間	2025 年 10 月 24 日（金）～ 10 月 31 日（金） ＊郵送に限る（最終日消印有効）	2026 年 2 月 13 日（金）～ 2 月 27 日（金） ＊郵送に限る（最終日消印有効）

2. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	前期日程	後期日程
地域文化研究科	南 島 文 化 専 攻	10 人	若干名	若干名
	英米言語文化専攻	3 人	若干名	若干名
	人 間 福 祉 専 攻	10 人	若干名	若干名
	（ 社 会 福 祉 学 ）	（5 人）	（若干名）	（若干名）
	（ 臨 床 心 理 学 ）	（5 人）	（若干名）	（若干名）
地域産業研究科	地 域 産 業 専 攻	10 人	若干名	若干名
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	8 人	若干名	若干名

※募集人員は一般・推薦・社会人・外国人を含む

※（ ）は人間福祉専攻の内数

Ⅱ 出願資格

1. 出願資格

①の出願資格を満たし、②～⑪のいずれかに該当する者で、かつ、外国人留学生は、⑫のイ～ハのすべてに該当する者とする。

- ① 沖縄国際大学大学院のアドミッション・ポリシー（専攻別アドミッション・ポリシー含む）を熟読し、十分に理解した者
- ② 大学を卒業した者〔2026年3月卒業見込みの者を含む〕
- ③ 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ④ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者〔修了見込みの者を含む〕又はこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育を日本において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- ⑥ 日本において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者
- ⑦ 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑧ 指定された専修学校の専門課程を修了した者〔2026年3月修了見込みの者を含む〕
- ⑨ 旧制学校等を修了した者
- ⑩ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者〔2026年3月修了見込みの者を含む〕
- ⑪ その他、当該研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳以上の者
- ⑫ 外国人留学生として出願する場合は、次のイ～ハのすべてに該当しなければならない。

イ. 日本に国籍を有しない者

ロ. 「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる者

ハ. 修学及び研究活動に必要な日本語の能力を有する者

注1. 出願資格④（又は～以下文）、⑪により出願しようとする者は、出願資格認定のため「出願資格審査」を要します（P.12 参照）。但し、法学研究科法律学専攻においては、過年度の出願資格審査に合格した者にも今年度の出願資格審査合格者選抜試験への出願を認めますので、再度出願資格審査を受ける必要はありません（P.13 の「2. 出願資格審査合格者選抜試験」を参照）。

「出願資格審査」を実施する研究科・専攻は次のとおり。

地域文化研究科 南島文化専攻

地域文化研究科 英米言語文化専攻

法学研究科 法律学専攻

注2. 出願資格⑩については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本校等の修了者（2026年4月1日時点満22歳に達した者）で、大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において「出願資格審査」により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

※1 上記②～⑫の文中に記されている各課程及び施設の詳細については、文部科学省のホームページを必ず参照すること。

文部科学省 HP トップ > 教育 > 大学・大学院、専門教育 > 大学・大学院入学資格について

※2 出願資格等について不明な点がある場合は、事前に入試センターまで問い合わせること。出願直前に問い合わせると、手続が間に合わない場合があるので、時間に余裕を持って、早めに問い合わせること。

※3 上記の出願資格を満たし、かつ、各選抜種別における出願条件（PP.6～7 参照のこと）を満たさなければ出願はできません。

2. 各選抜種別出願条件

地域文化研究科 南島文化専攻、英米言語文化専攻、人間福祉専攻

1	一般選抜試験	出願資格（P.5）に該当する者
2	推薦選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者 【南島文化専攻】 ①本学文学部または総合文化学部を卒業した者、または2026年3月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者 【英米言語文化専攻】 ①本学文学部英文学科・国文学科または総合文化学部英米言語文化学科・日本文化学科を卒業した者、または2026年3月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 【人間福祉専攻】 ①本学文学部または総合文化学部を卒業した者、または2026年3月卒業見込みで、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③社会福祉関連の施設及び行政機関、社会福祉協議会、医療機関並びにこれらに準ずる団体等に在職し、その所属長の推薦のある者（※社会福祉学領域のみ） ④在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者
3	社会人選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者 （英米言語文化専攻以外は外国人留学生を除く） 【南島文化専攻・英米言語文化専攻】 ①当研究科入学時において、大学卒業後2年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別入学者選抜制度の適用を受けた者 【人間福祉専攻】 ①当研究科入学時において、大学卒業後2年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別入学者選抜制度の適用を受けた者 ③大学を卒業し、所属する団体長等の推薦がある者

地域産業研究科 地域産業専攻

1	一般選抜試験	出願資格（P.5）に該当する者（外国人留学生を除く）
2	推薦選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者 ① 2026 年 3 月に本学経済学部または産業情報学部を卒業見込みの学業成績優秀な者で、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③在職する学校、教育委員会の代表者の推薦のある者 ④企業の代表者の推薦のある者 ⑤その他の各種団体の長の推薦のある者
3	社会人選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者（外国人留学生を除く） ①当研究科入学時において、大学卒業後 5 年以上経過した者 ②当研究科入学時において、3 年以上の常勤の実務経験を有し、かつ 25 歳以上の者 ③大学入学時において社会人特別入学者選抜制度の適用を受けた者
4	外国人特別選抜試験	次の①～④すべてに該当する者 ①外国籍を有する者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者または取得できる者 ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者（入学迄に修了見込みの者を含む）、又はそれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者 ④修学に必要な日本語能力を有する者

法学研究科 法律学専攻

1	一般選抜試験	出願資格（P.5）に該当する者
2	推薦選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者 ① 2026 年 3 月に本学卒業見込みの学業成績優秀な者で、指導教員の推薦のある者 ②在職する各自治体の首長等の推薦のある者 ③弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会保険労務士会及びこれらに準ずる団体等の長の推薦のある者 ④在職する企業の代表者の推薦のある者
3	社会人選抜試験	出願資格（P.5）に該当し、かつ次のいずれかに該当する者（外国人留学生を除く） ①当研究科入学時において、大学卒業後 2 年以上経過した者 ②大学入学時において社会人特別入学者選抜制度の適用を受けた者

※今年度又は過年度に「出願資格審査」を受験し合格した者は、別途定める「2. 出願資格審査合格者選抜試験」(P.13)に出願してください。

Ⅲ 出願手続

1. 出願書類

下記の書類を、本学所定の出願用封筒を使用し、速達書留で郵送すること。

※証明書等については出願期間前の3か月以内に発行されたものに限る。

出 願 書 類	摘 要	一 般	推 薦	社会人	外国人 (地域産業 研究科)
①志願票 A票～C票	出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽正面無背景の写真を枠内に添付すること。 縦4cm×横3cm ＊カラーに限る。	○	○	○	○
②卒業証明書	出身大学の学長（学部長）が作成したもの。 (2026年3月卒業見込みの者は、卒業見込証明書) ＊証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付すること。 ＊提出する証明書は必ず原本を提出すること(コピー不可)。 原本が提出できない場合は、Certified True Copy(卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類<例:公証書等>)を提出すること。 ＊日本語または英語以外の言語で作成されている場合、公的機関の認証を受けた日本語または英語の翻訳文を添付すること。	○	○	○	○
③成績証明書	＊在籍した大学等のもの。 ＊提出する証明書は必ず原本を提出すること(コピー不可)。 原本が提出できない場合は、Certified True Copy(卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類<例:公証書等>)を提出すること。 ＊日本語または英語以外の言語で作成されている場合、公的機関の認証を受けた日本語または英語の翻訳文を添付すること。	○	○	○	○
④履歴書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。	○	○	○	○
⑤在職証明書	推薦・社会人選抜試験で有職の者。 ＊志願者が個人事業主の場合は不要。 ＊様式は問わない。	—	○	○	—
⑥志望理由書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。	○	○	○	○
⑦研究計画書 ＊本学所定様式	本学所定の用紙により提出すること。 ＊法学研究科は不要。	○	○	○	○
⑧業績報告書 ＊本学所定様式	卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要をまとめて提出すること。卒業論文等執筆中の者は執筆中と表記した上で、その論文名、要旨等を記入し提出すること。業績のない者は「特になし」と記入し提出すること。 ＊法学研究科は提出不要。	○	○	○	○
⑨住民票又は在留カードのコピー	在留カードの場合は、在留資格及び在留期間を確認するため、表、裏両面をコピー(A4)を必ず提出すること。	外国人 のみ	外国人 のみ	—	○
⑩パスポート及びビザのコピー	写真、氏名、パスポート番号のページと日本への出入国歴のあるページのコピー(A4)を必ず提出すること。	外国人 のみ	外国人 のみ	—	○
⑪推薦状	指導教員、または各種団体の長の推薦状。 ＊様式は問わないが、推薦者の押印のあるもの。	—	○	＊人間福祉 専攻で団体 長の推薦が ある者のみ 提出	○

※その他、必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

※受験の際に、特別な配慮を要する者は、受験料納入期間開始前(前期日程:2025年8月8日(金)、後期日程:2025年12月4日(木))までに本学入試センターへ問い合わせてください。

※出願資格審査、出願資格審査合格者選抜試験については、P.12を参照。

2. 受験料

受験料	30,000 円
納入期間	前期日程 2025 年 8 月 12 日 (火) ～ 8 月 19 日 (火)
	後期日程 2025 年 12 月 5 日 (金) ～ 12 月 12 日 (金)
注意事項	・志願票 (A ～ E 票) に必要事項を記入し、金融機関の窓口を通して振り込むこと。 ・一度納入された受験料は、どのような理由があっても返還しません。 ・振込手数料は依頼人 (志願者) のご負担となります。
受験料フリーパス制度について	「受験料フリーパス制度」とは、本学の大学院の入学選抜試験 (同一年度内に限る) に再度出願する場合、2 回目の受験料を無料にする制度です。 なお、初回出願時の「E 票：受験料領収書」が必要となりますので、領収書は紛失しないよう、保管してください。 * 「E 票：受験料領収書」の再発行はできません。 * 「E 票：受験料領収書」を紛失した場合は入試センターにお問い合わせください。 * 受験料フリーパス制度を利用して出願する場合は、初回出願時の「E 票：受験料領収書」をコピーし、必ず出願書類中の「A 票：志願票」裏面に貼付してください。 * 出願資格審査合格者選抜試験の受験料について、同一年度内に出席資格審査に出願している場合、受験料フリーパス制度の対象となります。

3. 出願期間

出願期間	前期日程 2025 年 8 月 12 日 (火) ～ 8 月 19 日 (火)
	後期日程 2025 年 12 月 5 日 (金) ～ 12 月 12 日 (金)
注意事項	出願は郵送に限る (最終日消印有効)

Ⅳ 選抜方法

地域文化研究科 南島文化専攻

一般選抜試験	①外国語 ②専門科目 ③面接	
推薦選抜試験	①専門科目 ②面接	
社会人選抜試験	①専門科目 ②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語、フランス語、韓国語のうちから1つ選択し受験する。但し、外国人の場合は日本語とする。(辞書(電子辞書を含む)持ち込み可)
	専門科目	言語文化、民俗文化、先史・歴史文化、社会文化の4領域から1つ選択し、その領域に関する専門科目を受験する。

※先史・歴史文化領域のうち、先史(考古学)で受験をする場合は、事前にご相談ください。

地域文化研究科 英米言語文化専攻

一般選抜試験 ※	①外国語 ②専門科目 ③面接	
推薦選抜試験 ※	①専門科目 ②面接	
社会人選抜試験 ※	①専門科目 ②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語 ※日本語教育学を選択する外国人留学生の場合は日本語とする。但し、「日本語能力試験(JLPT)」N1レベル、「日本留学試験(EJU)」で日本語科目「読解・聴読解・聴解」300点以上、あるいは「J.TEST 実用日本語検定」準B級レベル700点以上(随時試験の成績表は除く)の資格を持っている者は免除される。 ※辞書(電子辞書含む)持ち込み不可。
	専門科目	英米文学領域、言語教育学領域(英語教育学、日本語教育学)の2領域から1つを選択し、その領域の専門科目を1つ受験する。 ※カッコ内は試験科目

※本学で受験可能な外国人留学生含む。

地域文化研究科 人間福祉専攻

一般選抜試験	①外国語 ②専門科目 ③面接	
推薦選抜試験	①専門科目 ②面接	
社会人選抜試験	①専門科目 ②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語(辞書持ち込み可、但し、電子辞書は不可とする) 社会福祉学領域と臨床心理学領域は各領域で独自に試験を課す。
	専門科目	社会福祉学、臨床心理学の2領域から1つを選択し、その領域に関する専門科目を受験する。

※臨床心理学領域を受験する場合、公認心理師の受験資格取得希望者は、公認心理師のカリキュラムを持つ大学において公認心理師法に定められた25科目を修得し卒業する必要があります。平成29年より前に学部で心理学を学んだ場合は、出身大学で履修した科目が定められた25科目に読み替えられることが可能な場合があります。科目の読み替えについては出身大学で確認してください。

地域産業研究科 地域産業専攻

一般選抜試験	①外国語 ②専門科目 ③面接	
推薦選抜試験	①専門科目 ②面接	
社会人選抜試験	①専門科目 ②面接	
外国人特別選抜試験	①専門科目 ②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語（辞書（電子辞書を含む）持ち込み可）
	専門科目	経済領域（地域社会経済システム、産業組織）、沖縄・環境経済領域（沖縄経済、環境経済）、経営領域（マーケティング）、産業情報領域（応用計量経済、地域発展）、財政領域（財政）の5領域から1つ選択し、その領域の専門科目を1つ受験する。 ＊カッコ内は試験科目。

法学研究科 法律学専攻

一般選抜試験 ※	①外国語 ②専門科目 ③面接	
推薦選抜試験	①専門科目 ②面接	
社会人選抜試験	①専門科目 ②面接	
選抜方法内訳	外国語	英語（辞書（電子辞書を含む）持ち込み可）
	専門科目	憲法、税法、国際法、法哲学、民法、商法、刑法、刑事政策、国際私法、労働法、民事訴訟法から2科目選択し、受験する。 （六法は大学が用意するため持ち込み不可とする。）

※外国人留学生含む。

V 出願資格審査・出願資格審査合格者選抜試験

1. 出願資格審査

出願資格審査とは、本大学院が「大学を卒業した者」と同等以上の学力があるか否かを出願前に審査することです。審査の結果、認定された場合のみ出願が許可されます。

(1) 対象者

出願資格（P.5 参照）の④（又は～以下文）、⑩に該当する者。

(2) 実施研究科・専攻

地域文化研究科 南島文化専攻

地域文化研究科 英米言語文化専攻

法学研究科 法律学専攻

(3) 手続き及び審査方法

①試験日程等

出 願 資 格 審 査 試 験 日	2025 年 9 月 28 日（日）
審 査 料 納 入 期 間	2025 年 8 月 12 日（火）～ 8 月 19 日（火）
申 込 期 間	2025 年 8 月 12 日（火）～ 8 月 19 日（火） ※郵送に限る（最終日消印有効）
出 願 資 格 審 査 結 果 発 表	2025 年 10 月 23 日（木）午前 11 時

②出願資格審査料：30,000 円

③出願書類

	出願書類	留意事項
1	志願票 A～C 票	出願前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽正面無背景の写真を枠内に添付すること。 縦 4cm × 横 3cm *カラーに限る。
2	出願資格審査願 * 本学所定様式	必要事項をすべて記載すること。
3	最終の卒業証明書 又は修了証明書 ※いずれか 1 つ	出身学校の学校長が作成したもの。 * 証明書氏名に改姓のある者は戸籍抄本を添付すること。 * 提出する証明書は必ず原本を提出すること（コピー不可）。原本が提出できない場合は、Certified True Copy（卒業した学校又は公証人役場等の公的機関で、原本から正しく複製されたものであることを証明した書類＜例：公証書等＞）を提出すること。
4	成績証明書	

④試験科目・試験時間

	試験科目	試験時間
1	専 門 科 目	11 : 00 ～ 12 : 30（90 分）
2	面 接	13 : 45 ～

※法学研究科の専門科目は、法学検定試験スタンダード〈中級〉コース相当の試験を行う。

2. 出願資格審査合格者選抜試験

出願資格審査に合格した者は、以下のとおり受験することができます。

(1) 地域文化研究科 南島文化専攻・英米言語文化専攻

今年度前期日程で出願資格審査に合格した者は、後期試験日程に基づき、「出願資格審査合格者選抜試験」を受けることができる。

＜試験科目・試験時間＞

	試験科目	試験時間
1	外国語 ※	9:00～10:30 (90分) <英語>
2	専門科目	11:00～12:30 (90分) <一般選抜試験と同様>
3	面接	13:45～

※英米言語文化専攻のみ。但し、日本語教育学を選択する外国人留学生の場合は日本語。

(2) 法学研究科 法律学専攻

今年度又は過年度の出願資格審査に合格した者は、「出願資格審査合格者選抜試験」を受けることができる。

＜試験科目・試験時間＞

	試験科目	試験時間
1	専門科目	11:00～12:30 (90分) ※ P.11 の同専攻専門科目参照
2	面接	13:45～

(3) 試験概要

①試験日程等：前期日程（法学研究科のみ）及び後期日程と同一の日程でそれぞれ行う（P.4 参照）。

②受験料：30,000 円（P.9 参照）

③出願書類：P.8 にて、それぞれの書類の摘要を確認すること。

1	出願資格審査合格通知書のコピー	7	志願票 A 票～C 票
2	卒業証明書	8	成績証明書
3	履歴書（本学所定様式）	9	在職証明書
4	志願理由書（本学所定様式）	10	研究計画書（法学研究科は不要）
5	業績報告書（本学所定様式、法学研究科は不要）	11	住民票又は在留カードのコピー（外国人のみ）
6	パスポート及びビザのコピー（外国人のみ）		

Ⅵ 選抜試験・合格発表

1. 試験日・試験科目・試験時間・試験会場

試験日	前期日程	2025 年 9 月 28 日 (日)
	後期日程	2026 年 1 月 25 日 (日)
試験科目・試験時間	外 国 語	9 : 00 ~ 10 : 30 (90 分) <一般選抜のみ>
	専門科目	11 : 00 ~ 12 : 30 (90 分)
	面 接	13 : 45 ~
試験場	本学 (試験室は、試験当日掲示する)	

2. 合格発表及び入学手続書類の交付

	前期日程	後期日程
日 時	2025 年 10 月 23 日 (木) 午前 11 時	2026 年 2 月 12 日 (木) 午前 11 時
連絡事項	本学ホームページ (https://www.okiu.ac.jp/graduate/admission) に掲載し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送する。なお、不合格者には通知しない。	

Ⅶ 出願・受験上の注意

1. 出願上の注意

- ① 出願書類は、本学指定の出願用封筒に入れて、「速達書留」にし、郵便事情を考慮して、早めに発送してください。
- ② 受験料は、本学所定の志願票（A～E 票）に必要事項を記入して、金融機関の窓口を通して振り込んでください。振込手数料は、依頼人（志願者）のご負担となります。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受け付けません。
- ④ 一度提出された書類及び受験料は、返還しません。
- ⑤ 受験票は郵送するので、確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を丁寧に記入してください。試験 3 日前までに受験票が届かない場合は、下記へ連絡し、指示を受けてください。

沖縄国際大学 入試センター TEL : 098-893-8945

2. 受験上の注意

- ① 試験当日は、試験開始 15 分前までに入室してください。なお、試験開始後 30 分経過した後の受験は認めません。
- ② 受験票は必ず持参し、机上に提示してください（忘れた場合は、入試本部で指示を受けてください）。
- ③ 筆記用具は鉛筆または、シャープペンシル（いずれも HB）に限ります。
- ④ 下敷の使用は認めません。
- ⑤ ウェアラブル端末、携帯電話等は、試験室に入る前にアラーム等の設定を解除した上で、電源を切って、かばん等に入れてください。なお、時計としての使用も認めません。
- ⑥ 試験会場周辺には食堂が少ないので、なるべく弁当を持参してください。また、昼食は自席でとってください。
- ⑦ 発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- ⑧ 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験はできません。なお、感染症の罹患を含む体調不良により欠席した場合、追試験は行いません。
- ⑨ 試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う場合があります。寒暖については上着等で各自調整してください。

個人情報の取扱いについて

出願に際し提供していただいた個人情報については、志願者への連絡や入学者選抜試験実施、合格通知及び入学手続作業以外には利用いたしません。

Ⅷ 入学手続

1. 入学手続期間及び入学時納入金の納入について

合格者は、下記の期間内に入学時納入金を一括して納入すること。入学時納入金の納入を済ませた者は、必ず下記の期間内に入学手続書類を提出すること〔郵送に限る（最終日消印有効）〕。

入学時納入金は、本学所定の振込用紙（合格通知書及び入学手続書類と同封）に必要事項を記入し、金融機関で期間内に振り込むこと。**なお、期限までに入学手続を完了しない場合、入学資格を失います。**

前期日程	後期日程
2025 年 10 月 24 日（金）～ 10 月 31 日（金）	2026 年 2 月 13 日（金）～ 2 月 27 日（金）

* 入学手続に関する詳細については、合格者に入学手続書類（合格通知書と同封）を送付するので熟読すること。

* 前期日程合格者で大学在学中の者（2026 年 3 月卒業見込みの者）は前期日程の納入期間に入学金のみを納め、後期日程の納入期間に授業料、施設設備資金、後援会費、校友会費、学生保険料を納入することも可能。

2. 入学金及び諸学費

種 別		金額（円）	備 考
入 学 金		120,000	本学卒業生は半額 60,000 円
授 業 料	前 期	185,000	年額 370,000 円
	後 期	185,000	
施 設 設 備 資 金	前 期	50,000	年額 100,000 円
	後 期	50,000	
後 援 会 費	年 額	12,000	年額 12,000 円
校 友 会 費	終身会費	20,000	本学卒業生は免除
学 生 保 険 料	在学期間	2,430	2 年分 2,430 円
合 計	初年度納入金	624,430	本学卒業生は 544,430 円

* 入学時納入金 389,430 円【本学卒業生は 309,430 円】（後期の授業料と施設設備資金は含まれない。）

* 地域文化研究科人間福祉専攻臨床心理学領域では、入学後、学外実習費を別途に徴収します。

3. 学費返還手続

入学手続完了後に、やむを得ず本学大学院への入学辞退を希望する者については、本学大学院所定の学費返還手続により、納入した入学時納入金から入学金を除いた額を返還する。

申 請 〆 切 日	2026 年 3 月 31 日（火） 17：00 まで（窓口受付）土・日・祝日を除く
受 付 場 所	沖縄国際大学 入試センター（窓口取扱時間 9：00～17：00）
返 還 方 法	申請者指定の金融機関口座振込（4 月下旬予定）
注 意	* <u>入学金は返還しない。</u> * 郵送する場合は必ず入試センターへ事前連絡の上、書留等の配達記録が確認できる方法で郵送すること。 （郵送受付：2026 年 3 月 23 日（月）17：00 必着）

Ⅸ 大学院入学者選抜 Q&A

1	Q	入学者選抜試験制度について教えてください。
	A	本大学院では、以下のとおり入学者選抜試験制度を設けています。 「一般選抜試験」「推薦選抜試験」「社会人選抜試験」「外国人特別選抜試験（地域産業研究科のみ）」 受験日程や受験資格等の詳細については、本要項の該当ページを参照してください。
2	Q	教員の研究内容を詳しく知りたいのですが、どうすればいいですか？
	A	大学院担当教員の研究概要の情報は、本学のホームページから閲覧することができます。 https://www.okiu.ac.jp/graduate より詳しい研究内容を知りたい方は、事前に該当教員とアポイントを取って、研究室訪問等を行ってください。
3	Q	過年度の修士論文テーマを知りたいのですが、どうすればいいですか？
	A	大学院案内等に一部掲載していますが、本学の図書館に過年度の修士論文が保存されていますので、希望研究科の修士論文テーマについては、許可を受ければ閲覧することができます。なお、一部閲覧ができない論文もあります。
4	Q	過去の試験問題がほしいのですが、どうすればいいですか？
	A	過去の試験問題は、入試センターで配布していますので、入学者選抜試験要項と併せて請求してください。 TEL：098-893-8945 E-mail：entchr@okiu.ac.jp
5	Q	社会人で仕事をしながら通学を考えております。夜間の講義の実施状況を教えてください。
	A	本学大学院は、昼夜開講制で、ほとんどの授業が、夕方以降に設定されています。また、土曜日も開講しています。 但し人間福祉専攻臨床心理学領域については、修士1年及び2年ともに外部機関での実習がありますので、その間仕事との関係で調整が必要です。
6	Q	受験を考えている分野の学部・学科出身でないのですが、受験できるでしょうか？
	A	受験できないことはありません。しかし、大学院の講義・実習は、基本的知識があるものとして進められます。不安に感じる方は、入学後、学部の授業科目を受けられる制度（学部科目等履修制度）がありますので、是非活用してください。 また、他の方法としては、本学に編入学し、当該分野の基礎を学習してから大学院受験されることをおすすめします。
7	Q	卒業論文を書いていない場合は、どうすればいいですか？
	A	出願書類の所定用紙（業績報告書）に、卒業論文が卒業の要件としない大学のため、卒業論文を書いていないことを記入して、提出してください。
8	Q	修業年限は何年ですか？
	A	標準修業年限は2年ですが、最長4年まで在籍できます。
9	Q	公認心理師の資格は修了と同時に取得できますか？
	A	修了しただけでは取得できません。公認心理師のカリキュラムを修めて修了すると公認心理師国家試験の受験資格を得ることができます。公認心理師になるには、その試験を受験し合格する必要があります。国家試験は修了する年に受験できます。なお、公認心理師国家試験の受験資格を得るためには、公認心理師のカリキュラムを持つ大学において公認心理師法に定められた25科目を修得し卒業する必要があります。平成29年より前に学部で心理学を学んだ場合は、出身大学で履修した科目が定められた25科目に読み替えられることが可能な場合があります。科目の読み替えについては出身大学で確認してください。

10	Q	日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校になっていますか？
	A	大学院地域文化研究科人間福祉専攻臨床心理学領域が、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の実施する「臨床心理士」の資格試験に関する受験資格を有する大学院（1種）として指定されています。第1種指定校ですので、大学院在学中の実習経験だけで修了後に臨床心理士試験の受験資格が得られます。
11	Q	臨床心理士の資格は修了と同時に取得できますか？
	A	修了しただけでは取得できません。第1種指定校の場合、修了すると、日本臨床心理士資格認定協会の主催する臨床心理士資格試験の受験資格を得ることができます。臨床心理士になるには、その試験を受験し合格する必要があります。本学は、第1種指定校ですので、修了した年の秋に受験できます。
12	Q	学位による税理士試験科目の免除を受けることができますか？
	A	法学研究科において、税法に関する研究により学位を取得した場合は、「税法に属する科目」の免除申請をすることができます。 ＊「学位による試験科目免除」制度の詳細は国税庁のHP（ https://www.nta.go.jp/index.htm ）をご覧ください。
13	Q	出願書類について、強調したい部分をカラー印字にしたり、図表をカラーで挿入したりしたいのですが、良いですか？
	A	面接の際には出願書類を白黒コピーして審査するため、カラー表示は使用しないでください。
14	Q	「志望理由書」、「研究計画書」は2枚以内、「業績報告書」は1枚以内とのことですが、記入欄が不足する場合は、様式の枠を広げたり、用紙を追加したりして記入してもよいのでしょうか？
	A	所定の様式の改変や追加は、行わないでください。また、HPから所定様式をダウンロードして書き込んでいく際、記入する内容によっては、枠が次の頁までずれ込んでしまうようなケースが考えられますが、これも行わないでください。また、出願者の判断で、欄を増やしたり、減らしたりすることは出来ません。
15	Q	所定様式をダウンロードしようとしたが、罫線がずれたり、一部に文字化けがあったりします。どうすればいいですか？
	A	各所定様式は、お使いの個々のPCの動作環境によって、不自然な罫線のズレや改行、または、文字化け等の不具合が発生する場合がありますが、個々の動作環境にかかるお問い合わせには応じかねます。お手数ですが、本要項の出願書類を参照し、適宜、修正を施してください。
16	Q	HPからダウンロードした出願書類の所定様式と本要項の出願書類の様式の枠の大きさが若干違いますが、どうすればいいですか？
	A	ダウンロードしたファイル自体には、不自然な部分が見当たらない場合であっても、プリントアウトの際、所定の様式と若干の差異を生じることがあります。このような場合には、様式の構成に変更がなく、罫線の位置がミリ単位でズれている程度であれば、特に問題はありません。
17	Q	出願書類を送付後、誤りに気づきました。差し替えを行いたいのですが、どうすればいいですか？
	A	出願書類を提出後に、差し替えを行うことは出来ません。提出前に、十分に確認を行った後、提出してください。
18	Q	自己アピールのために、本要項に記載されている出願書類以外のものを添付してもよろしいでしょうか？
	A	本要項に記載されている出願書類以外のものは添付しないでください。

出願書類（本学所定様式）一覧表

研 究 科	専 攻	履 歴 書	志望理由書	研究計画書	業績報告書
地域文化研究科	南 島 文 化 専 攻	○	○	○	○
	英米言語文化専攻	○	○	○	○
	人 間 福 祉 専 攻	○	○	○	○
地域産業研究科	地 域 産 業 専 攻	○	○	○	○
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	○	○	×	×

○：要提出 ×：提出不要

【注意事項】

- * 本学所定様式以外の書類（推薦状、在職証明書等）は、任意様式ですので、各自で取り揃えてください。
- * 必要書類は、「2026 年度大学院入学者選抜試験要項」（P.8）を必ず参照の上、取りまとめてください。
上記の書類が出願書類のすべてではありません。
- * 本学所定様式のレイアウトの変更、改変等は、一切認めません。変更・改変を行った場合、出願書類は受付ません。
- * 入学者選抜試験要項（P.8）に記載されている出願書類以外のものは、添付しないでください。
- * 極端に小さい文字、行間、文字間の狭いものなど、読みづらいものは避けてください。
極端な場合は、出願書類の受付は行いません。

履 歴 書

(西暦) 年 月 日

写 真

志願票と同一の写真
を貼付すること。

縦 4cm ×横 3cm

フリガナ			志望先	
氏 名			研究科名	
			専攻名	
			領域名	
生年月日	西暦 年 月 日生		外国人の場合は国籍を記入すること。	
	(2026 年 4 月 1 日時点 歳)			
現住所 連絡先	〒 — (様方) 自宅 TEL () — 携帯 TEL () — E-mail ※ PC からのメールを受信できるもの			
年 月	学 歴 (高等学校卒業から記載してください)			
年 月	職 歴 (所属部署・業務内容)			
休 学	期 間	年 月 日 ~ 年 月 日 (年 月)		
		年 月 日 ~ 年 月 日 (年 月)		
	理 由			

志望理由

本欄には、具体的な志望理由について、その要旨を記述してください。特に次の点については、可能な限り、具体的かつ明確に書いてください。(2枚以内にまとめること。)

- ①本学大学院を志望するに至った経緯
- ②学習状況（学習履歴、現在学習していること、適宜参考になっている文献や資料について）
- ③入学後、何をどこまで研究したいのか

志望理由（つづき）

氏名

沖縄国際大学大学院

研究計画および方法

本欄には、具体的な研究計画および方法について、その要旨を記述してください。特に次の点については、可能な限り、具体的かつ明確に書いてください。**(2枚以内にまとめること。)**

①研究テーマ ②研究の目的 ③先行研究の概要 ④調査・分析の方法

⑤期待される成果（研究成果を今後の実践活動にどのように活かしていくかについて）

研究計画および方法（つづき）

業績報告書：

本欄には、卒業論文、ゼミにおける研究活動、社会活動（自分の研究にかかわるものに限る）等について、その要旨を記述してください。なお、学会誌等へ発表した論文、学会誌等における発表がある場合は、「論文名、掲載誌名、査読の有無、巻号、最初と最後の頁、発表年」「学会等の名称、発表年」を記載してください。（**1 枚以内にまとめること。**）

出願資格審査願

(西曆) 年 月 日

地域文化研究科		法学研究科
1 南島文化専攻 () 言語文化 () 民俗文化 () 先史・歴史文化 () 社会文化	2 英米言語文化専攻 ①英米文学 () ②言語教育学 () 英語教育学 () 日本語教育学	() 法律学専攻

大学院受験を希望しますので、出願資格審査を申請致します。

[illegible]

ACCESS MAP



○ 空港・那覇南部方面からのアクセス

路線バス



所要時間: 約70分

♀バス停: 国内線旅客ターミナル前より乗車

♀バス停: 長田下車、徒歩7分

125 普天間空港線 (20分～1時間間隔)

モノレール ▶ 路線バス

モノレール



所要時間: 約11分

旭橋駅下車、
那覇バスターミナル隣接

路線バスのりかえ



所要時間: 約50分

♀バス停: 那覇バスターミナルより乗車

90 知花線 (15～30分間隔)

♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

92 那覇～イオンモール線 (1日4本)

♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

98 琉大線 (20～30分間隔)

♀バス停: 沖縄国際大学前下車

110 長田具志川線 (30分～1時間間隔) ♀バス停: 沖縄国際大学前下車

21 新都心具志川線 (30～40分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

24 那覇大謝名線 (30～40分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

27 屋慶名(やけな)線 (20～60分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

25 那覇普天間線 (30～40分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

※午前9時台以降の出発バスはなし



所要時間: 約37分

てだこ浦西駅下車



所要時間: 約20分

♀バス停: てだこ浦西駅より乗車

297 冲国琉大快速線 (1日7本)

♀バス停: 沖縄国際大学前下車



所要時間: 約37分

てだこ浦西駅下車



所要時間: 約26分

♀バス停: 西原入口より乗車

97 琉大線 (20～30分間隔)

♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

125 普天間空港線 (20～60分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

タクシー



所要時間: 約40分

高速バス ▶ 路線バス

高速バス



所要時間: 約40分

♀バス停: 国内線旅客ターミナル前より乗車

111 高速バス (30分間隔) ♀バス停: 琉大入口下車、徒歩約3分

152 高速バス (1日4本) ♀バス停: 琉大入口下車、徒歩約3分

路線バスのりかえ



所要時間: 約10分

♀バス停: 琉大北口駐車場より乗車

98 琉大線 (20～30分間隔) ♀バス停: 沖縄国際大学前下車

297 冲国琉大快速線 (1日7本) ♀バス停: 沖縄国際大学前下車

○ 北部方面からのアクセス

高速バス ▶ 路線バス

高速バス



所要時間: 約70分

♀バス停: 名護バスターミナルより乗車

111 高速バス (30分間隔) ♀バス停: 琉大入口下車、徒歩約3分

路線バスのりかえ



所要時間: 約10分

♀バス停: 琉大北口駐車場より乗車

98 琉大線 (20～30分間隔) ♀バス停: 沖縄国際大学前下車

297 冲国琉大快速線 (1日7本) ♀バス停: 沖縄国際大学前下車

路線バス ▶ 路線バス

路線バス



所要時間: 約110分

♀バス停: 名護バスターミナルより乗車

120 名護西空港線 (15～30分間隔) ♀バス停: 大謝名下車

路線バスのりかえ



所要時間: 約15分

♀バス停: 大謝名より乗車

27 屋慶名(やけな)線 (15～30分間隔) ♀バス停: 長田下車、徒歩約7分

那覇空港

沖縄国際大学

名護バスターミナル

沖縄国際大学